

3学期に伸ばしたい「根っこ」

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月8日（水）いよいよ令和元年度第3学期のスタートです。前日からの悪天候で、子ども達の登校を心配していましたが、いつものように「おはようございます！」と元気に挨拶。楽しい冬休みを過ごし、一回り成長した子ども達の姿を見て、3学期も充実した毎日になると思い、とても嬉しくなりました。

始業式では、「3学期に伸ばしてほしい根っこ」の話をしました。2学期の反省から、あまり改善されなかった資質・能力（根っこ）が2つありました。

一つ目は「協働」です。「学習課題に対して、友達と学び合い、自分の考えを広げ深めることができる。」という姿を目指しています。

そこで、何よりも大切にしたいのが「聞く」ことです。これまでも、相手の話を、目・耳・心・頭で聞くことができる「ききかた名人」をめざし指導を重ねてきました。現在、6名の子どもを「ききかた名人」に認定していますが、全体的に聞く態度がよくなってきたと感じています。

3学期は、さらにレベルを上げ「聞きながら反応する」ことを指導していきます。例えば、「うなずく」「相づちを打つ」「つぶやく」などです。このような反応ができるということは、話をしっかり聞き、一生懸命考えている証拠です。また、聞き手の反応があれば、話し手も自信をもって発表できるようになります。そのような、話し手と聞き手の関係ができたとき、「協働」する力も伸びると考えています。

二つ目は「健康」です。「食事のマナーを守り、好き嫌いをしないで残さず食べることができる。」という姿を目指しています。

まず、「食事マナー」ですが、「食器をもって食べること」と「食事中の会話に気をつけること（大きな声で話さない・きたない言葉を遣わない）」の2つのことを指導していきます。

正しいマナーを身につけることによって、みんなが気持ちよく楽しく食事をすることができます。ご家庭においても、食事中的お子様の様子を見ていただき、その都度声をかけていただければと思います。

もう一つが「好き嫌い」です。始業式の中で「嫌いな食べ物がありますか？」と尋ねたところ、たくさんの子供が手を挙げました。私にも嫌いなものがあり、子ども達の気持ちがよく分かります。そこで、次のように話しました。

「嫌いなものがあるとき、一口でもいいから頑張って食べてほしいと思います。給食センターの方が、みんなの体のことを考えて、一生懸命作ってくださった給食です。感謝の気持ちを持ち、自分の体のために、残さずしっかり食べてほしいと思います。」

無理をして食べるのではなく、「少しなら食べることができる」ということを目指して取り組んでいきます。

3学期は、約50日です。3月の卒業式・修了式での子ども達の姿を楽しみにしながら、日々の指導に全力で取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



始業式：堂々としたためあての発表



始業式：元気いっぱいの校歌斉唱